「通勤経路の再申請・確認」についての窓口折衝

通勤手当の戻入を撤回すること！ 会社にも責任はある！本人の責任だけ追及するのは間違いだ！

会社が昨年末から年始にかけて行った「通勤経路の再申請・確認」で、自動車通勤のため通勤手当を支給されていた社員が、会社から「距離が500メートル不足していた」として、約24万円にも及ぶ通勤手当の戻入を求められる事態が明らかになりました。

本部は3月8日、会社との窓口折衝で「通勤手当を故意に間違えたわけではない。会社も認めた通勤距離である」として過払い分の戻入を撤回するよう、求めましたが会社は「500メートル分のガソリン代は残っているはずだ」「法的には10年遡って請求できる」として、戻入を撤回するとはしませんでした。

以下、主な議論内容です。

500メートル分のガソリン代は残っているはず？ 常識では考えられない会社の言い訳！

組合：昨年末より「通勤経路の再申請と確認」が行われているが、ある職場でこれまで申請していた通勤手当の区間距離が500メートル不足していたことが判明し、これにより手当額が下がることになったが、会社より約24万円もの戻入を求められている事態が明らかになった。余りにも高額であり戻入を撤回すること。

会社：通勤手当を多くもらっていたのだから戻入するのは当然である。

組合：本人は故意に間違えたわけではないし、会社も認めた距離である。

会社：会社は距離を確認することはしない。

組合：職場では事務担当社員が地図を使ってルートや距離を確認しているではないか。

会社：あくまでも間違えて申請した本人の責任である。

組合：過去に賃金の誤支給があった時は2年しか遡らなかったではないか。

会社：法的に認められているものである。今回のような手当の時効は10年であ

り、遑って請求できる。

組合：過払いであったとしても、その差額はガソリン代等に使ってしまっている。

会社：距離が500メートル少なかったのだから、500メートル分のガソリン代は残っているはずだ

組合：そんなはずがない。そもそも通勤手当だけではガソリン代はまかなえない。

会社：車種によっても違うが平均的な自動車では十分な額である。

組合：とにかく高額な戻入は本人負担が大きすぎるので撤回すること。

会社：職場で対応していると思うが、分割で支払う等で対応していただく。

組合：また、JRや私鉄での通勤手当は「最も安価なルート」とされているが、今回の申請時にルートが変えられた社員には、差額の戻入が請求されていないがなぜか。

会社：多くもらってはいたが、定期券や回数券を購入するために使った分については戻入しなくても良い。

組合：では自動車による通勤手当も戻入しなくても良いではないか。

会社：自動車の場合は定期券のように形になっていないので、距離が足りなかった分は現金か預金で残っているはずである。

組合：そんなことはない。常識ではありえない。

今回、会社が「通勤経路の再申請と確認」を行ったのはなぜか。

会社：約1年前も行ったと思うが、その後も申請の間違いがあったため、今回行うことになった。

組合：通勤手当に関する不正など不祥事があったのではないか。

会社：その様なことは聞いていない。

組合：今回の「通勤経路の再申請と確認」で明らかになった通勤手当の戻入は会社にも責任がある。戻入を行わないよう求める。

以 上